

■ 2018.05.06 夜行バス「夕陽号」 ■



金浦駅から普通列車で酒田へ。
酒田駅前にある庄内交通ターミナル 22:22 発夕日号で東京へ。
由利本荘市発夜行バス、ドリーム鳥海は満席で席がとれませんでした。

夕日号のほうが、酒田までの列車料金を払っても 600 円ほど安いのでびっくり。(電車 760 円 バス 7870 円 合計 8630 円)
バスは 3 列シートでトイレ付。あいにく真ん中のシートでしたが、カーテンまで遠いから広くていいかも。リクライニングは、それなりなのでやっぱり少し疲れました。

■ 2018.05.07 北京到着 ■



夜行バスは上野に 5 時半到着。京成線で成田空港第 2 ビル。(1030 円)

10:55 中国東方航空で上海経由、北京。機内で、大変なことに気づく。

「地球の歩き方」北京のファイルがパソコン内がない。メインパソコンから移動し忘れた模様。痛恨のエラー。空港から市内への行き方、地下鉄路線図などすべての情報がない。がびーん。せめて、ホテルの地図だけもと思ったが、北京国際空港の無料 Wi-Fi にはログインできず。仕方なく、空港から地下鉄で市内へ向かう。(25 円)

駅構内の地下鉄路線図をスマホで撮影。地下鉄 10 号線に乗ることだけは覚えていた。

ホテルの住所から降りる駅がわかった。(5 円) 問題はホテルの場所、皆目見当がつかない。

駅を降りてから、大きな通りを左へ少し、右へ少し。ホテルらしきものを探してみる。

おじさんに尋ねてみたが、英語はまるで通じない。仕方なく、少し裏通りに入ってみる。ホテルらしきビルを発見。

「ここで目指すホテルの場所を聞けばいいや」と尋ねたら、そこが目的のホテルだった！

ラッキー！！ ホテル一泊 (209 円) 近くのコンビニでビールとチャーハン、白酒を買って晩酌。(13 円) ちなみに、現在、1 元は 17 円です。

■ 2018.05.08 中国の通信事情 ■



おはようございます。

中国では、SNS つまり LINE や FaceBook は使えない模様です。あと、グーグルはまったくだめ。地図もスケジュールもメールもだめでお手上げであります。検索も、グーグルはおろかヤフーでもだめなことが多いです。本ブログ（ココログ）ができていのは奇跡のようなものかも。

■ 2018.05.08 モンゴルへ ■



木樨園長距離バスターミナル（木樨園長途客汽車站）から、モンゴル行き夜行バスが出ている。

16時半出発。明日朝、エレンホト到着予定。国境越えが順調にいけば、モンゴルのザミンウードから明日夜の寝台列車に乗る。ウランバートル到着は10日朝となる予定。

ウランバートルのホテルに着くまでネットはお預けかな？

中国ではラインもフェイスブックもできないので、このブログだけが情報発信源となります。

モンゴルは大丈夫だろうな…。

バスターミナルの建物は、なぜか閉鎖中だった。バスは向かいの空き地から出るという。出発は午後6時。あと5時間もある。デパートで時間をつぶしたり、フードコートで食事したりしてすごす。

6時になってもバスには乗れなかった。モンゴル商人らしき人たちが大量の荷物をバスの下部に積み込むのをあっけにとられて見ていた。どうやら6時は集合時間だったようだ。

結局7時30分頃出発。バスの車内は2段ベッドが3列ならんだ状態。通路は狭いがしっかり寝ていけるのでいいかも。

■ 2018.05.09 国境越え ■



夜行バスは思いのほか快適だった。中国側国境の街、二连浩特（エレンホト）に朝 7 時 20 分頃到着。バスを降りると、軽トラのような車が待ち受けていて、国境まで行くという。5 分ほど走ってすぐ別の乗り合いバスに乗り換え。おいおいこれで 10 元とるか。

乗り合いバスで、今度こそ国境へ。門の前でしばらく待ち、8 時半に出国審査。結構スムーズ。

9 時すぎに出口に乗り合いバスが回って来てくれて、今度はモンゴルの入国審査。こちらもまずまずかなあ。ATM でモンゴル通貨 50000 トウグルグをキャッシング。額が多そうだが日本円で 2278 円。モンゴル側の国境の街ザミンウッドにバスが着いたときは 10 時半を回っておりました。

国境越えバス 100 元。（相場は 80 元ぐらいと聞いていたが…。）駅で寝台列車の 2 等切符を購入。22000 トウグルグ。（1002 円）駅前の店でビールを購入。ホームに座って飲んだが、虫はたかるわ黄砂らしきものが飛び交うわ、とても外にいられませんでした。

駅前の食堂に入って、モンゴルチャーハンを食す。6700 トウグルグ（305 円）

出発前に、もう 1 回 ATM キャッシング。間違えて 50 万トウグルグをおろし顔面蒼白。落ち着いて計算してみたら日本円で 22781 円だった。きっと半分も使えないが、人民元と両替すればいいか。

寝台列車は 18:05 発。2 段ベッドの上段で、夜行バスより狭かった。天井が低すぎますな。

■ 2018.05.10 ウランバートル到着 ■



寝台列車は時刻通り 8:45 分にウランバートル駅に着いた。早速帰りの寝台切符を購入。

29 番のバスに乗り、市内中心部へ。降りる場所がどこかわからず不安になる。大きな通りに出たので必死にタブレットの地図を見る。中央郵便局らしき建物を発見。セントラルタワーもあったのでここでバスを飛び降りる。

道行く人に英語で通りの名前を尋ねたら、なんと日本語の話せる方でした。数年前、帯広大学で畜産を学んだ獣医さんとのこと、ホテル近くまで一緒に歩いてくれました。

ホテルは一泊 24000 トウグルグ (約 1093 円) 物価安いなあ。

近くのスーパーでビール 2 本、ウオッカ 1 本、缶詰、ウインナー、カップ麺、パンを購入。

なんと！合計 20000 トウグルグ (約 911 円)

■ 2018.05.11 ウランバートル市内観光 ■



街の中心は、エンフタイワン大通り。スフバートル広場やチョイジンラマ寺院博物館（8000 トウグルグ）をゆっくりと観光しました。

■ 2018.05.12 ウランバートルからザミンウード ■



まもなくホテルをチェックアウト。Mongolia Vision Tours はとても快適な宿でした。
 本日 17:20 発寝台列車でザミンウッドに戻ります。
 メルクーリ・ザハ（市場）、ガンダン寺などを観光して、駅に向かう予定。
 次のブログ更新は、北京に戻ってから。14日以降となります。

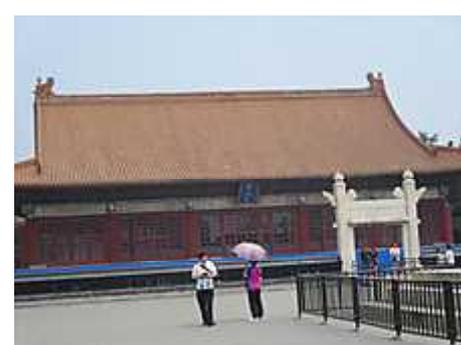


■ 2018.05.13 エレンホトにて ■



モンゴルの出国審査はバスでの待機時間が長かった。中国の入国審査で引っかかり、汗。機械の不具合じゃないのか...(>_<)
 現在、北京行き寝台バスの出発待ちをしています。14:30 まであと 2 時間半ほど。バスターミナルの無料 Wi-Fi につながってラッキー。

■ 2018.05.14 北京ふたたび ■





夜行バスはいつの間にか北京に着いていた。目覚めたのは5時半。バスを降りて歩く。

北京は巨大な都市で、地図で見ると近そうだが結構距離がある。6時ころ、地下鉄5号線に乗る。早朝なのに結構混んでいた。「東四」駅下車。iPhoneアプリのマップを頼りに、ホテルを探す。ホテルの近くまで来ているはずなのに、入り口が分からない。数人に尋ねたが答えは曖昧。同じところを何度も行き来したが分からず…。

偶然見つけた派出所で聞いてやっと場所が分かった。結論をいうと、アプリが間違っていた。事前にホテルの地図をスクリーンショットしておいたものが正しかった。(涙)

ホテルの部屋にチェックインできるのは12時以降とのこと。荷物を預けて「故宮」へ歩いて向かう。これまた結構遠い。地図だとすぐそばなのに…。やっと着いた故宮は、月曜休みでした。とほほ…。仕方なく、となりの中山公園へ。入場料3元。のんびり過ごす。

公園を出たら、すぐそばが天安門だった。平日なのに、観光客の数がすごい。

12時少し前にホテル近くに戻る。スーパーでビールと食料を買い込んでチェックイン。すかさずシャワー。ビール。洗濯。ビール。2日間の汚れは半端じゃなかった。(>_<)

■ 2018.05.15 万里の長城 ■



憧れの「万里の長城」観光、やっと実現できました。地下鉄2号線積潭駅下車。特勝門箭楼から877路直達バスに乗り、約1時間で八達嶺長城へ。(片道12元)

長城へのルートは左右に分かれている。左は傾斜のゆるやかな女坂、右は傾斜のきつい男坂。

少々迷ったが、がんばって男坂を選択。「北4楼」まで、ひいひい言いながら登ってきました。

自撮りでとった写真は、このブログにアップすると、何度トライしても逆さまになってしまうので諦めました。ところで、長城の道を歩きながら、何度もデジャブ(既視感)にとらわれました。

夢で見ていたんでしょうかね。(^^#)

ホテルに戻って、近所を散策していたら、セブンイレブン発見。おにぎと、サラダ巻きとビールを買い込みました。醤油はついてなかったが、日本から持参したものがまだ残っておりラッキー。やはり和食が一番ですなあ。

■ 2018.05.16 故宮 ■



北京観光の目玉といえば、故宮、頤和園、天壇の三つですね。それぞれ規模がとても大きいので、故宮だけに絞りました。ホテルから歩くと遠いので、地下鉄を利用することに。自販機で3元の切符を購入、10元札を入れたら、お釣りが2元しか出てこなかった。近くに係の人もいない様子。

詐欺だペテンだ！ 諦めてホームに向かう。2号線天安門東駅下車。

故宮の入場料は60元(1020円)、中国の物価からしたら高いが、日本の感覚では安いほうかも。

とにかく、凄い、人、人、人、人…。人の波にのまれるというのは、こういうことを指すのでございましょうね。

素晴らしい世界遺産ですが、ゆっくりじっくり観光するという気分は持てませんでした。約1時間半で、専用出口へ。ただただ、気疲れしました。

ホテルに戻り、またまた近くのセブンイレブンへ。ビールとハーフワイン&食料調達。今宵もまたサラダ巻き、ゆで卵、ポテトサラダ。和食が食べられるなら、無理して中華料理を食べることはないもんね。

■ 2018.05.17 北京からダッカへ ■



地下鉄の始発に乗って空港へ。空港線の切符を 25 元を買い 20 元札 2 枚を出したら、切符だけよこして釣りをくれないので「くれ」と言ったら、15 元のお釣りともう一枚切符をくれた。2 枚もらっても、しょうがないんだけどなあ。昨日の自販機 5 元詐欺の穴埋めになるのか…。

搭乗手続きが終わったら免税店でウイスキー 1 本買おうと思った（バングラディッシュは、お酒 1 本かビール 6 本持ち込みできるそう）が、免税店のあるところを通らなかった。

ダッカ行き中国東方航空 MU2035 便は、昆明を経由するため、国内便のような扱いになっているみたいだ。人民元が 41 元余ったのを使う場所がない。額が少ないと再両替も断られた。

仕方なく、自販機で飲み物を買う。ビールは売り切れ。くそう。水と、オレンジジュースを 1 本ずつ買い、さらに乳酸飲料を買ったら、2 本出てきた。1 本 6 元。自販機 5 元詐欺の元をとり、1 元も上げたことになる。中国の自販機は、ミステリアスでんなあ。

さて、飛行機には時刻通りに搭乗したが、そのまま機内で 2 時間待たされた…。(涙) 理由を説明してくれ…。昆明で出国手続き。免税店でウイスキー 1 リットル 1 本を買い込み機内へ。2 時間遅れのため駆け足でこなす。

■ 2018.05.17 ダッカは手ごわい ■



バングラディッシュの首都ダッカには、1 時間半遅れで到着。

さっそく、アライバルビザのカウンターへ。申請用紙 1 枚に記入して提出。日本人は無料。

空港の両替所で余った人民元 25 元を両替。250 タカ。率がいいな。日本円 1000 円両替してみたら、500 タカ (650 円)。ものすごく率悪し。モンゴル通貨は却下された。(*_*)

空港から歩いて市内へ。車がものすごいスピードで走り、クラクションをけたたましく鳴らす。幹線道路から離れたところを歩いていても怖い。ホテルのありそうな脇道にはいると、今度は泥道。うーむ。ホテルの場所が分からず道行く人に聞くとみんな親切に教えてくれる。ある女性は、{CNG} (オートリキシャのようなもの) まで案内してくれた。これに乗ればホテルまで連れて行ってくれるのかと思いきや、その地区の入り口らしいところで降ろされた。そこでまた道を尋ね、今度はリキシャ (自転車) でホテルへ。「ここが、ホテルだ」と言われた場所にホテルはなかった。途方に暮れる僕…。それでもまた、道を尋ねまくと、降ろされた場所のすぐ近く、反対側にそれはあった。アパートタイプのホテルは探すのが大変だから、以後はできるだけ避けようと思う。

ホテルにチェックイン。Wi-Fi ログイン。これからは Facebook も LINE もできる。ストレス解消です！！

■ 2018.05.18 スーパーに行くのも一苦勞 ■





朝から激しいスコール。雨季だから仕方ないか。昼前後に雨があがったので、近所を散策してみる。道は泥道で非常に歩きにくい。リキシャと人で道端はごった返し、道中は猛スピードのバス、車、バイク。怖くって道歩かれまっしえん。(°Д°)

1キロ先のスーパーまで行くのにも、どっと疲れました。スーパーで、缶ビールを見つけ、喜び勇んでレジに向かう途中、念のため確認したら…。ノンアルでした。

このスーパー結構値段が高かった。袋ラーメン1個 55タカ (72円) だと、日本と変わりません。夕食は、ホテルの近所で調達。カレー味のフライドライスとチキン。これで 150 タカ (196円)。美味かったです。

その後、ホテルのオーナー、従業員、お客の若いきれいな女性（欧米人？）と一緒に、居間のテーブルでお茶と夕食をご馳走になりました。

ドミトリーに宿泊しているような、アットホームな雰囲気を楽しめます。

ダッカのホテル2泊目は、蚊帳をつつて寝ました。天井扇風機を回したまま寝ると寒いくらい…。

■ 2018.05.19 美味しいじゃないか ■



アパートタイプのホテル、ゴルパタ・ベッド&ブレイクファーストから、少し高級なホテルに移動。湿気が多くじめじめする気候なのでエアコンがないのはきつい。それに水シャワーだし…。

この日から2泊するのは Hotel the Rahamania International 1泊 2500 タカ (3267円)

エアコン、お湯シャワー、冷蔵庫。ビールが買えると最高なんだけどなあ。

近所を散策しても、スーパーやコンビニは見当たらず、気軽に入れそうな安食堂もない。

ホテルのルームサービスを頼むことに。

写真のセットは、フライドライス、フライドチキン 2、マサラチキン 2、ミックスドベジタブル、フレンチフライ。これで 280 タカ。(366円)

と一っつも美味しかったです。(＃^^＃)

■ 2018.05.20 ダッカ旧市街 ■



生憎雨季のバングラディッシュ。朝から大雨。晴れ間を見て旧市街観光を敢行。(^^#)
ホテルから歩いてまず向かったのは、

- ①ブリゴンガ川(水運の都として発達させた川の一つ)
- ②ショドル・ガット(ブリゴンガ川に面した船着き場)
- ③アーサン・モンジール博物館 (ダッカの領主だったナワブ家の住宅)
- ④チョーク・バザール (ムガル帝国時代のビジネスの中心地)
- ⑤ラルバーク・フォート 81678 年建てられた砦)

どこを歩いても大混雑、人ごみ、泥道、クラクション。なかなか進みません。チョーク・バザールあたりまで来て、たまたま、リキシャを捕まえました。向かったラルバーク・フォートは月曜休み。とほほ…

帰りはそこから「CNG」で、親切なおじさんからホテルの住所を見て、「私もその近くに用事があるから一緒に行こう」と申し出が。道中、英語で観光案内をしてくれました。(街中の騒音のためよく聞き取れませんでした…) バングラディッシュの人は、皆親切です。チップを要求することもあります。これはなかなか珍しことです。

■ 2018.05.21 今日はインドへ移動 ■



夕べがダッカのラストナイト。近くのレストラン店頭で美味しそうな揚げ物を見つけたので、これで晩酌することに。チキンのマサーラ煮まるごと 1 羽と、野菜串揚げ 1 本。合わせて 430 タカ (562 円)。思ったより少し高かった。入国時に持ち込んだバラントイン 1 リットルも、4 日間で飲み干してしまった。(^^)v ああビール恋しいよう。

■ 2018.05.21 コルカタ到着 ■



ダッカ中央駅から列車で空港へ。すしずめ、おんぼろ、戸は開けっ放し。35 タカ。空港で長時間過ごす。街にいるより数段まし。



21:25 発エアインディアでコルカタ。

到着後、アライバルビザを取る。通常は、出国便のチケットを提示しなければならないのだが、パキスタンへ陸路で国境越えする予定なので、その説明をしたり、何やかんや聞かれたり、結構時間がかかった。空港で日本円をルピーに両替。両替率は悪くないが税金だか手数料が高くてびっくり。ATMキャッシングすればよかったか…。

空港近くの宿を予約していたので、歩いて向かう。空港から不審な男がずーっと後をつけてくる。速足で歩いたがつきまといは変わらず。しばらく歩いたら、突然追いつき何やらしゃべったがわからず、大声で撃退！ なめんじゃねえ！ この野郎！

その後すぐに宿の近くまで来たが、場所が分からず、別のホテルの人に尋ねる。宿に電話してもらい大体の場所が分かった。そこまで歩いたけど、やっぱりわからない。チャイ屋でもう一度尋ねたりグーグルマップで探してもらったりしたけど分からず。親切な若者が宿に電話してくれた。15 分後に迎えに来てくれるという。お礼にチャイをおごる。そこで待つこと 30 分。宿のオーナーがバイクで拾ってくれた。宿はそこから 150m くらいの至近距離にあった。

宿の名は、PRIYA HOUSE。ブッキングドットコムの写真とは大違い。ただのアパートだった。エアコンも TV もタオルすらない。700 ルピーの宿なのに税込みで 1000 ルピー支払わされた。

おかしいとは思ったが疲れていたの素直に支払った。無料 Wi-Fi という触れ込みだったが、つながらなかった。

■ 2018.05.22 バンガロールへ ■



Wi-Fi がつながらなければ何の意味もない。部屋のすぐそば、玄関で寝ているオーナーを起こし、「DNS エラーがでている、ルーターを再起動してくれ」と言ったら、彼はスマートホンをいじった。なにいつ！こいつ！テザリングを無料 Wi-Fi っていうてるのか。それでもつながればいいか。つながって 30 分しないうちに、突然ネットワークが消えた。オーナーがスマホをもってどこかへ行ったらしい。ひどい宿だ。諦めてコルカタ空港へむかう。チェックアウトが7時から7時半というのも変だったな。13時までいてもいいが宿代2日分払えという強欲さ。もちろん断ったが…。



空港には8時前に着いたが、飛行機の出発時間は14:10。またまた長時間の暇つぶし。ロビーでビールにありついた。実に1週間ぶりか？ (*_*) エアインディアにチェックインして搭乗ゲートへ。そこで空港無料 Wi-Fi に接続して驚く。PRIYAHOUSE からブッキングドットコムへ宿泊キャンセルの連絡があったという。私が、ホテルに現れなかったということで…。馬鹿野郎、何ねぼけてんだ?? きっと俺に低評価されると思って、先に手を打ったに違いない。早速ブッキングドットコムへメール。インド人は概して親切でいい人が多いが、こういう輩が少くないから注意が必要だ。いい勉強になった。



さて、飛行機に乗ったら、と一っつても嬉しいことが。そうです、またまたまたビジネスクラスに変更されたのでした。これで何回目かなあ。うふっ。バンガロールまでの2時間半、とても快適でありました。空港からエアポートバス KIA7 に乗って市内へ。ホテル近くのバス停で降りてホテルへ。今回は迷うことなく一発到着。ホテルの人に近くの酒屋を聞いてビール・ゲット!! 大満足。



■ 2018.05.23 アガスティアの館へ ■



前回インドを訪れたのは5年前2013年夏のことだった。その際、バンガロールのアガスティア館、マニバサカン氏に4万ルピーの借金をしたままだった。今回はその借金返済のためにインドに立ち寄ったのだ。律儀だなあボク。(律儀な奴が5年も放っておくかよ…) マニバサカン氏は快く迎えてくださいました。

近所の大きなスーパーマーケットにて、エッグ・フライド・ライス&チキンをゲット。180ルピー(289円) 写真のカップ麺はカップヌードル・インドの製品。マサーラとあるのでカレー味でしたね。味はそれなりでした。(^^#)

バンガロールでは、アガスティア館の近くにある OCTAVE HOTEL に3連泊。快適です。

ひどい宿の後だけに…。近所にいろんな店があり、酒も食料も楽に手に入ります。

ルピーさえ持っていれば。"(-"-)"

■ 2018.05.24 ATMに敗北す ■



インド・ルピーが足りなくなったのでATMキャッシングをしに出かけました。

結論を言うと、引き出しはできなかつたです。昨日から10数か所のATMにトライしましたが、全部敗北です。どこのATMも札がない。2000ピーすらおろせない。やっと受け付けてもらったと思ったら、200ルピーおろすのに200ルピーの手数料だと。あほか。結局、キャッシングはあきらめドルを両替しました。40ドルが2680ルピー。今日の為替相場では40ドルが2733ルピーだから率いいですね。

さて、今日ブッキングドットコムから以下のメールが届きました。

Isao Takahashi 様

Booking.com カスタマーサービスにご連絡いただき、誠にありがとうございます。

この度はお客様にご不便をおかけいたしました。誠に申し訳ございません。お部屋のお写真をお送りいただきましてありがとうございます。お客様の宿泊記録は非常に重要であるため、弊社および宿泊施設双方のシステムにて正しい記録が残るようお客様からのご回答を共有させていただきます。この度はご心配、ご迷惑をおかけいたしましたことを重ねてお詫び申し上げます。何卒ご理解を賜りますようお願いいたしますとともに、お客様のまたのご利用をお待ちしております。よろしくお願ひ申し上げます。

K. Tsunoda Booking.com Customer Service Team

部屋の写真撮っておいて良かったな。でも、結局何がどうなったかさっぱりわかりません。(*_*)
ただ、PRIYA HOUSE はブッキングドットコムサイトで現在予約不能になっているので、それ相応の報いを受けたらうことは想像がつかますが…。因果応報ですなあ。

■ 2018.05.24 コメントできない。 ■

ガッツいしい様、よしかず様、YUTAKA 様、コメントいただきありがとうございます。
インドからココログへのコメントはできないようです。何度トライしても、エラーが出ます。
この記事でコメントすることをご容赦ください。

【 ガッツいしい様 】

励ましありがとさんです。ダッカは見所ほとんどなかったです。(笑) 人はみなとても親切でフレンドリー。街は汚いが、人の心は綺麗。そんな印象でした。

【 よしかず様 】

ダッカ観光情報ありがとうございました。参考にさせていただきました。ダッカの街歩きは道路が汚く危険で時間がかかりました。リキシャに乗るのが一番賢い方法とわかりました。

【 YUTAKA 様 】

院内小「にこにこ集会」講師の件、おひき受けしましょう。(笑) ネタには事欠かないみたいです。毎日いろんなことが起こります。(#^^#)



■ 2018.05.25 アムリトサル ■





バンガロールのカラマンガラ地区からバスで空港に向かう。空港から市内へ来た時に降りた場所の向かいにて、バス待ち。

通常 20 ~ 30 分で来るはずだが…。なかなか現れず不安になる。ひょっとして帰りはここ通んないの？そんなことはないよなあ…。と思っているうち、35 分後にバスは来た。

インディゴ航空でアムリトサル。3 時間のフライト。これで 8574 円は安いよな。

さすがに機内食も飲み物も有料だったけど。多くの人がカップ麺をオーダーするのには驚いた。

空港到着。タクシーは高いのでリキシャーで市内へ。若者と相乗り。

200 ルピーと言われたが 150 に値切って乗った。市内中心部まで 14 キロほど。

若者は中心部手前で降り、100 ルピー支払った。ホテル近くに着き 500 ルピー札を出したが、お釣りが無いという。

屋台の人に両替を頼み 100 ルピー 5 枚に。100 ルピー 1 枚を 50 ルピー 2 枚にしてもらおうとしたができず。結局 200 ルピー支払うことに。とほほ。

City Star Hotel は有名な黄金寺院のすぐそば。ということは、お酒を売る場所が近くにないということ。グーグルマップで検索してみたら、1.1 キロ先。

それでも歩くんですね、ビールを得るためなら。結局 700m 先くらいで売っている店発見。

ビールゲット！！ 大瓶 180 ルピー (290 円) 少しぼられたかも。

夕食は、近所の店で、コロッケ 2 個と焼きそばテイクアウト。70 ルピー (113 円)



■ 2018.05.26 黄金寺院 ■

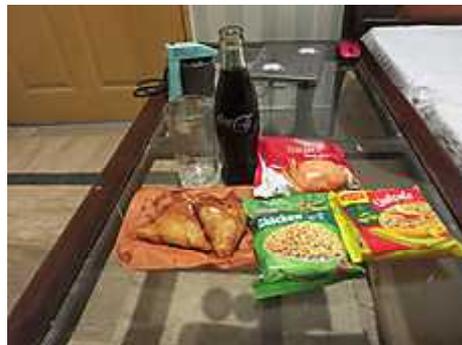




黄金寺院は、昨日、場所だけ確かめておいて、内部見学は今日の朝にしました。アムリトサル黄金寺院は、インドの金閣寺とも呼ばれているそうですよ。

シーク教のならわしなのか、頭に何か巻かないと入場できません。で、巻いてもらいました。自撮り画像をフェイスブックにアップしたら、「水泳する人に見える」と、コメントが。確かにそうですなあ。あんなにキツク巻かなくてもいいのにとってはいました。(^^#)

■ 2018.05.26 国境を越えラホール到着 ■



ホテルから徒歩でバス停。近くに酒屋があるはずだが見当たらず。洋酒購入断念。

「ワガ・ボーダー」国境に向かうバスに乗る。インドでは「R」は強く「ル」と発音するので、「ボーダー」は「ボダル」と言わなければ通じない。(^^#)

1時間ほどで国境。35RS。バスの終着点から国境まで3キロ以上あるので、サイクルリキシャに乗る。40RS。

インドでの出国審査を終え、パキスタンの入国審査。いろいろ質問された。

無料カートトレインでTAXI乗り場まで連れていかれる。そこからリキシャで市内へ。

1000パキスタンルピー (PRs) の言い値を800に値切って乗り込む。ホテル到着。

1000PRs 札しかもってなかったためそれを渡すと釣りはないという。またかよ。疲れて面倒くさかったので、「いいよ1000で」と言ってホテルへ。

夕食は、写真のように、袋麺、野菜揚げにコカ・コーラ。とほほ。

■ 2018.05.27 ラホール観光 ■



ラホールはパキスタン第2の大都市。広くて、とても徒歩では廻れません。で、移動はリキシャ。ホテルの人に相場を尋ね、いざ出陣！有名な「ラホール・フォート」そして隣の「バードシャヒー・モスク」まで行くことにしました。ホテルからそこまで、交渉で 350PRs (329 円)。

素晴らしいかったです。人も少ないし。ゆっくり落ち着いて見学できて。
(故宮とえらい違いです…)



ホテル向かいの ATM でパキスタン・ルピーのキャッシングに成功しました。
(インドとえらい違いです…)

夕食はご覧のアイテム。お酒がないとこんなもの。ワタシハイツカラアマトウニナッタノダロウ??

■ 2018.05.28 ラホールからマスカットへ ■



パキスタン第2の都市、ラホールは、連日 40 度越え。最低気温が 30 度ときたもんだ。

5 月～7 月がもっとも暑い時期だそう。この時期に旅行するのは狂気の沙汰。

バスを乗り継ぎ、パキスタン最大の都市カラチを目指すつもりだったが断念した。22 時間もバスに乗って移動するなど、無謀というもの。カラチから次の目的国オマーンへの航空チケットも結構高い。それならば、いっそラホールからマスカットに飛んじまおう！ って、本当はお酒が手に入らなかったから、長くはられないと判断いたしました。そいでもってホテルからネットで E チケット購入。パキстанは結局 2 泊のみとなりました。

リキシャに乗って空港へ。相場がわかると安心ですな。400PRs ラホール空港で「シュマグ」を買おうとしたが、つかまされたのは「カシミヤ」。デザイン良く 2400 円なので買っちゃたあ。オマーンに持ち込む洋酒を買おうとしたが酒類一切売ってない。(涙)

ラホール to マスカットは 3 時間の空旅。機内食のチキン・カレーが美味しかった。

到着後、空港でオマーンのアライバルビザ取得。いたってスムーズ。10 日間有効ビザ料金は 5RO (1446 円) 出国した出口に免税店あり。ウイスキー 1 本ゲット。



空港から市内へ、ルート TAXI (乗り合い TAXI) で移動するつもりだったが、乗り場がわからず、歩いているうちに何人にもしつこくお声かけられ、結局普通 TAXI で乗り合いでホテルへ。でも 7RO (1980 円) 請求された。くそう。オマーンは移動費が高いと聞いていたがその通りだった。

ホテル向かいにスーパーマーケットあり。ミネラルウォーター 5 リットルが、なんと 0.4RO (113 円)。食品や日用品は安いです。夕食は、ホテルのルームサービスで「フィッシュ・ビリヤーン」。ご覧の通りすごいボリューム。15RO (424 円)。3 日ぶりのお酒とともに…。(#^^#)

■ 2018.05.29 マトラ地区観光 ■



マスカット観光といえば、マトラ、オールド・マスカット、ルイの3地区であります。今日はマトラを観光しました。乗り合いタクシーに一人で乗り、マトラ地区まで 2RO (565 円)。リキシャの感覚からするとすごく高く感じます。最初にみたのは、超有名なマトラ・スーク (市場)。いろんなものが売ってます。私のようなミニマリスト旅人には無縁の場所ですが、ウインドショッピングを楽しむことができました。次は、マトラ・フォート。内部は現在閉鎖中。

海岸線を歩いて海をのぞき込んでみると、その透明度の高さに驚きました。エメラルド色の綺麗な海でした。暑い中ずーっと歩いてフィッシュマーケットへ。観光で一番楽しみなのはその国の市場です。特に魚を見るのが好き。いろんな魚があり楽しめました。アラビア海は、肥沃な海なんだろうな、そう感じました。

■ 2018.05.30 ルイ地区観光 ■



ルイ地区の観光といえばオマーン国軍博物館、マトラ商業地区、ルイ・スークなど。

ホテルから比較的近いと思ったオマーン国軍博物館に向かいましたが、入り口が一か所しかないのを知らず大廻り。40度近い暑さの中、体力をかなり体力消耗。へろへろになってホテルに戻りました。あとは冷房の効いた室内で過ごしております。

話は変わって。ホテルのルームサービスメニューには、ビールが数種類あるんです。

当然、到着初日にオーダーしたのは言うまでもありません。なのに、なのに、なのに！ 現在ラマダン中のため、提供できないとのこと。食事も夜8時以降でないと提供されません。強烈な暑さとラマダンに打ちのめされております。ルームサービスのチキン・ビリヤニ。安くておいしいです (1RO)。部屋の窓から見えるマスカットの夜景が、とてもきれいです。

■ 2018.05.31 ドーハも暑い ■



さて、今日はマスカットからカタールの首都ドーハに移動です。
空港アライバルビザをとる必要があるため、アラビア半島の国々を廻るには空路を選ばざるを得ないのでした。

ルイから空港まで 7RO も取られたので、帰りは意地でもバスで行ってやると、硬く決意したボク。
ホテルの人に尋ねると、バスはやめたほうがいい、タクシーにしてくださいと言われました。

でも、一応行くだけ行ってみようと、バスステーションへ。

すると、止まっていたバスの表示に AIR PORT とあるではあーりませんか。それもあと 15 分で出発するという。やっぱり僕はラッキーですね。

空港までの料金は 0.5RO (142 円)。タクシーの十二分の一でございます。

マスカットの免税店でアルコールが買えますが、目的地カタールは酒類持ち込み禁止とのことで断念しました。



さてさて、飛行機は予定通りドーハ到着。アライバルビザを取得しようとしたがカウンターがない。普通に入国審査を受け、スタンプビザ代を支払おうとクレジットカードを提示したら、無料！と言われました。

去年の 11 月から変わったみたい。古いガイドブックは要注意ですなあ。

その後空港内で両替。でも窓口の人、なかなかお金を渡してくれない。

パスポート提示後 10 分くらいたって、システムエラーなので 2 分待ってくれ、と言われました。待つことさらに 10 分…。結局キャンセルしました。ATM でキャッシングしたお金を持ってバスへ。

747 番のバスに乗ればいいのですが、777 番のバスがいたので、「市内中心部を通りますか？」と尋ね乗り込みました。運転手さんが降ろしてくれたところは、目的地よりちょっとオーバーだったなあ。酷暑に歩くのはちと辛いなあと心の中で文句を言い乍ら歩くと、途中に公園があったり、ラクダ飼育所があったり、名所があったり。十分に観光を楽しむことができました。

ホテル到着、すぐ近くにコンビニあり。夕食はルームサービスでチキンカレー。

小さなシャンパーボトルに入れたウイスキーは、やっぱりシャンパー味が抜けませんでした。とほほ。 "(-"-)"



■ 2018.06.01 ドーハ観光 ■



ドーハの見どころは、イカタール国立博物館、イスラム芸術博物館、スーク・ワキーフといったところ。暑い中、頑張って歩きましたが、金曜日はイスラム教徒の集団礼拝の日ということで、ことごとくお休みでありました。唯一スーク・ワキーフのみ、夕方6時から営業で、その賑やかさ華やかさに触れることができました。

夕食はまたまたルームサービスで、アラビア料理のセットをオーダー。

メニューは、ミックスサラダ、マッシュルームのクリームスープ、ローストチキン、ガーリック・フライドライス、グリーンキャラメル、紅茶。初めての味覚でした。



■ 2018.06.02 クウェート入国&バーレーン入国 ■





6:00 発クウェート行きの飛行機に乗るため、4:00 チェックアウト。空港までタクシー。バスが走っていない時間帯だからしょうがない。70 カタール・リアル (2099 円)

7:20 クウェート空港到着。早速アライバルビザの取得。部屋にはコピー機と自販機と ATM が。入国カードに記入し、自分のパスポートのコピーを取り、VISA 代 3 クウェートディナール (1088 円) を支払う。ATM で現地通貨をキャッシングし自販機で支払うとスタンプカードが出てくる。これらをもって窓口へ。無事取得。

22:10 バーレーンへのフライトまで 14 時間も待ち時間がある。空港からバスで市内へ。ガイドブックには、13 番と 501 番どちらでもよいと書いていたので、止まっていた 501 番のバスに乗った。ところがこのバス、市内中心部にはいかないんですね。運転手さんが、バスを乗り換えていくように教えてくれたのでことなきを得ました。

12 番のバスに乗り換え、市内中心部。アブドゥル・ラザク・スクエア下車。グランド・モスク、シーフ・パレスを見学。その後、ムバラキヤ・スクを見ました。スク観光は昼より夜の方がいいですね。昼は人が少なくて活気がありません。しまっている店も多いし。

クウェートもまた 40 度越えの暑さで、街歩きは 1 時間もつかどうか。たまたま、バス (13 番) に乗り空港に戻っちゃいました。

飛行機の日程の関係で、クウェートでは宿泊しないことに決めていました。

安宿が全然ない、というのも決め手になりました。最低でも 4500 円以上。ドミトリーはないようです。

出発時刻まで残り 10 時間。エアマットを取り出し、寝てみたり。PC で映画を見たり。クウェート空港は椅子が少なく、座れる場所がないので、疲れしました。



バーレーン到着は 23:00 またまた、アライバルビザ取って (5 バーレーン・ディナール 1450 円)、ATM でキャッシングして、カタール通貨を両替して…。免税店でハイネケン 12 缶箱買いして (20 ドル)。

深夜だからバスは諦めタクシーでホテル。(6 バーレーン・ディナール 1740 円)

着くなりビール！ ビール！！ ぬるくたって構いませんっ！

ルームサービスを頼もうとしたら、部屋の電話が故障中。フロントに言ったら、部屋を替えてくれることに。冷蔵庫のある部屋にしてくれと要求し、希望を叶えてもらいました。

注文したのは、チキン・ビリヤニ (こればかり) でしたが、運ばれてきたのはチキンカレーとチャパティ (ナンの薄いやつと思ってよい)。 (#^_^#)

冷凍庫に入れて冷やしたビールとの相性は、最高でした！！

■ 2018.06.03 一か月ぶりのバスタブ ■



せっかくのバスタブですが、「栓」がありません！ でした。(駄洒落です)

こういうときのために、布入りガムテープを持参しているのですが、この方法、一時しのぎにしかなりません。翌日にはテープが剥がれるため、また新しくテープを貼りなおす必要があるんですね。

そんなとき、チャパティの包み紙のアルミホイルを見て、ぱっと閃いた！ そうだ、これを栓にしようっ！ 大成功だったことをご報告申し上げます。約1つか月ぶりのバスタブ！ 感無量でございます。

さて、バーレーンの首都マナーマも気温40度越え。本日の最高気温47度ということで観光は諦め、ホテルの近所散策のみにしました。途中「ダイソー」発見！ 中に入ってみました。お店はすごく大きく、日本と同じものが売られている。思わず買いたくなりましたが、100均一ではなく1BHD (290円) 均一。日本の3倍でございます。

はてさて。コンビニやスーパーは多々あれど総菜を売っている店はありません。レストランがたーくさんあるので、そこで食べるということでしょうね。毎日そんなに贅沢もしてもらえないので、スーパーで買い物。フランスパンとジュース、袋ラーメン。路上にテーブル出して揚げ物売っている店で鳥モモから揚げ購入。袋ラーメンを食べてびっくり！ こんなうまいラーメン海外で食べたことない。麺もスープも絶品だあ！ と、ラベルをよく見たら、NISSIN RAMEN SEAFOOD と書いてありました。さもありません。鳥モモから揚げは、ビールによく合いますなあ。12缶中10缶を2日で消費。(^^) 明日は酒屋さんにいかなくちや。



■ 2018.06.04 空振りの一日 ■





ビールの残りが少なくなったので、お酒を調達に出かけることに。
マナーマ市内に酒類販売店が5, 6軒あるそうで、グーグルマップで検索すると4軒ヒット。
ホテルからどれも遠いが、43番バスで行けるとマップが教えてくれた。
40度越えの灼熱の中バス停で待つこと40分。3キロ先の店へ。あれれ、入れ口がわからない…。
それもそのはず。お店は閉まっていたのですから…。近くにもう一軒あるはず！…と、そこも休業。
諦めて、バスに乗ったが、運転手さん、訳の分からない場所で前にあるバスに乗り換えろという。
前のバスに乗ろうとしたら、そのバスは行ってしまった。降りた場所をグーグルマップで調べたら、
もう一軒の酒屋の近くだった。喜んで向かうボク。しかし…
いさ田いさの休業酒店放浪記。酒屋3軒皆休業。「空振りの一日にため息つく」(by 永井龍雲)
今宵の食事はちと奮発して「ミート・マジブー」とかいう料理を注文してみた。
チキンビリヤーニとの違いはよくわからなかった。缶ビール最後の2本を飲んでしまったあ！！

■ 2018.06.05 マナーマ観光 ■



「ひょっとしたら…」ホテルの人に確かめてみた。「ラマダン期間中は、酒屋さん閉店なんですか？」
なんと、1か月ちょっとの間店を閉めなければならぬのだそうだ。厳しいのう。
闇で分けてあげようか？ と言われ、値段を聞いてやめた。(#^^#)
気を取り直して、マナーマ観光。グランド・モスク、旧宮殿など。モスクの中に入れなかったし、
特に見るものはありませんでした。灼熱の中での往復4キロの道のりにも慣れてきましたね。夕食は、
日清の袋ラーメン、イカの缶詰、イワシの缶詰。お酒がないのでマンゴー・ジュース。

■ 2018.06.06 移動日 ■



今日の深夜 0:30 (正確には明日)、再びクウェートへ向かう。1:45 到着のあと入国せず空港待機。10:00 発の飛行機でテヘラン (イラン) へ。テヘランからイスファハンにバス移動する予定だ。夜行バスで行って、翌日の夜行バスでテヘランに戻るつもり。

ホテルに宿泊しないと、Wi-Fi が使えないのでブログ更新はお預けになりそう。SIMM カード購入を考えようかなあ。

イランは酒厳禁だそう。ATM は外国人は使えない。

ブッキングコムなど欧米系のサイトでホテルの予約もできない。安宿も少ない。でも、バスなどの交通費はべらぼうに安い。そういう事情で、さっさと次の国、アゼルバイジャンに移動するかもしれません。(*^^)v

■ 2018.06.07 クウェート空港なう ■



クウェート空港到着後、シュラフとエアマットを出して床に横になったは良いが、ほとんど眠れず。朝 5 時には撤収。トランジット手続きをしてイラン行き搭乗券ゲット。クウェート空港も無料 Wi-Fi が使えるから暇つぶしには困らない。さて、バーレーン空港で手に入れたウイスキーのハーフボトル。三分の一飲んじゃったけど、イランに持ち込めるかなあ。没収覚悟でチャレンジしてみます。

■ 2018.06.07 イラン入国 ■



イラン入国。お〇〇の持ち込み成功。空港にてまずは両替。50 ドルが 225 万イランリアル。桁が大きすぎてしばらく対応できず。ちなみに、10 万リアルは 260 円。

次に現地 SIMM カード購入。30 万リアル。初めての体験で戸惑い多し。
 イランでは、ラインやフェスブックなどの SNS は出来ないようです。
 ココログもウェブ表示はされませんでした。ココログアプリだと投稿出来るのが不思議です。
 地下鉄で市内へ。南バスターミナルからイスファハン行き VIP バスに乗る。40 万リアル。
 4:45 分頃出発。11 時頃イスファハン到着。バスターミナルからホテルまでタクシー。
 4 キロほどの距離なのに 30 万リアル。完全にボラれましたね。だから、タクシーは嫌いなんだよ。
 ホテルは予約出来なかったので飛び込み。空いてて良かった。5 人部屋ドミトリーに一人で泊まった。
 12 ドル。チキンケバブとウイスキーで遅い夕食。
 缶ビールは当然ノンアルです。我慢できませんでした。(+_+) 疲れに疲れ、バタンキュー。



■ 2018.06.08 金曜はお休み ■



Amir Kabir Hostel の朝食を済ませ、イスファハン観光。歩いて廻れるところだけ。
 まずは、ホテルすぐそばの 「Seyed モスク」 から。生憎門が閉まっていたので、外観だけ。イス
 ファハンの街は街路樹が多く、日陰ができて歩きやすい。次に Chehel Sotoon 宮殿。これまた、門が
 閉まっていた。
 そして、最大の目的、世界遺産「イマーム広場」。その光景の素晴らしさにしばし感動。さあ、中
 にはいろいろ！！ ……。がびーん。中に入れませんでした。
 「アリー・カプー宮殿」も「聖職者長のモスク」も「イマーム・モスク」も「回廊のバザール」も
 全部ですぜ。旦那…。
 イスラムでは、金曜日は集団礼拝の日とされ、休業日なのでした。いい加減気づくもんですよね。
 ずっとイスラム圏を旅してるんだから…。とほほ。

ということは、もうひとつの世界遺産「ジャーメ・モスク」も閉まってる。

観光の意欲をなくしてしまったボクでした。もう一泊して明日を待つ気にはなれず、午前中のバスで、テヘランに戻ることを決意。バスターミナルに着いたとたん、テヘラン行きのバスに乗ることに。待ち時間ゼロ。

■ 2018.06.08 テヘランにとんぼ返り、そして… ■



テヘラン到着。金曜なので、テヘランでも観光の目玉は全部閉まっております。ゴレスタン宮殿、サーダバード宮殿など、モスク以外でも閉まってるんですよ。お手上げであります。

ようし、それならアゼルバイジャンに行つてやる！ と、脈絡も何もない考えが浮かび、西バスターミナルに行きました。大きなターミナルで、長距離バスのターミナルはどこなのか探すのに一苦労。何人にも尋ねた挙句、やっと見つけてチケット売り場へ。

「バクー。アゼルバイジャン」と連呼し、いくつかの窓口を尋ねましたが、首を横に振られるばかり。やっと英語を話すスタッフが現れ、そのおばちゃんに案内され、チケット購入。68万リアル。あれっ、少し安いな。バクーまで60ドルくらいって聞いてたけど…。

安いに越したことはない。と、深く考えず、水、食料、お菓子などを買い、イランリアルを使い果たす。20:00 バクー行き夜行バス発車…。

■ 2018.06.09 やらかし（され）ました ■



夜行バスの中で時折目覚める。今どこら辺を走ってるのかなあと 아이폰のグーグルマップを覗いてみた。あれっ！？ 思ったより西にいるな。カスピ海沿いを走るんじゃないのかな？

また目覚めて確認。あらら、ずいぶん北西だ、おかしいなあ。

朝、6時過ぎやっと確信した。それは「マーカー」という地名をマップで発見したからだ。

ガン。私は「バクー」に向かうつもりが、「マーカー」行きのバスに乗せられたわけだ。

あれほど、「バクー アゼルバイジャン」と何度も言ったのに。アゼルバイジャンを聞き逃すはずはないのに…。地図で示すべきだったかと後悔してももう遅い。

バスの運転手にアスタラ（アゼルバイジャンとの国境）へ行く方法を尋ねた。タブリーズまで引き返せば、アスタラ行きのバスがあるという。バスが休憩した地点で、タブリーズへ向かうバスを止めて乗ればいいと彼は言ったが、止まってくれるバスはなかった。

結局 TAXI 相乗りでタブリーズへ。近いと思ったが 150 キロ以上あった。1 時間半ほどで到着。30 万リアル。

バスターミナルでアスタラ行きバスを尋ねると、早い出発のバスは 13:30 発だという。

アスタラどまりで 19 時過ぎ到着。国境越えは明日になる。アスタラに泊まる気はないので、キャンセル。アスタラに向かう途中の大都市アルダビール行きバスならば、すぐ出発するというので、そちらを購入。（ただし、そこから先のバスがあるかどうかは不明。）

タブリーズからアルダビールまで 228 キロ。10:00 出発、14:00 少し前到着。

バスを降りたらタクシーが待っていたので、アスタラに行くバスはないかと尋ねると、乗り合い TAXI を紹介された。アスタラまであと 88 キロ。15 万リアル。（イスファハンのタクシーがいかにか法外なボリ方をしたか、良く分かった）

日本人だと分かると、英語が話せないのに、運転手さんや、乗り合わせたお客さんが、スマホの翻訳機を使って会話を試みてくれた。私たちは、日本人が大好きです、とも。イランの人はとても親切で、よく声をかけてくれた。好奇心が強く、じろじろ見られるのには少し閉口したが…。

アスタラ到着は 16:00 少し前。すぐにイランの出国審査。これがスムーズにいかない。係官が引っかかったのは「なぜイスファハンからテヘランに戻ったのか」。イスファハンを観光したかったからテヘランから往復しただけなのだが、うまく伝わらなかったようだ。別の人に、デジカメの写真を見せ説明し納得してもらった。

次に、アゼルバイジャンの入国審査。これまた変なところで引っかかった。ビザの名前とパスポートの名前が反対だという。ビザにはシュアネーム（名）とファミリーネーム（姓）の欄があるのだが、アゼルバイジャン VISA 用紙にはファミリーネーム欄がなかったから、アザーネーム欄に姓を書いただけなのに。些細な事だと思うがなあ。並んだ人が少なかったのに、結局 45 分以上かかって、無事入国。

入国したボクを待ち構えていたのはアゼルバイジャンのジローラモ（イメージです）。この男やたら調子がいい。いろいろと翻弄されたが長くなるので省く。バクー行きのバスに乗りたかったのだが、最終バスは出た後だった。

20:00 発の列車はあるが、到着は明日の 7 時になる。結局 TAXI でバクーまで行くことにした。50 ドル。安くはないが 250 キロという距離を考えれば、高くはないと判断。何より疲れていたもので…。

6 時前後 TAXI 出発。ホテル到着 10 時。近くのスーパーでビール&ウオッカ&つまみ購入。お酒が自由に手に入る国に来たんだなあと思無量。

あ、そういえば今日、僕の誕生日だったんだ。イランは SNS 閲覧できないので誕生メッセージが投稿されたことは分かるが、内容を読むことができず、気をもんでいました。皆さん、ありがとうね！

さて激動の誕生日、今日一日を振り返ってみると、このトラブルは、ロスなく最善の形、効率で乗り越えられたことに気づいた。やはり僕って「持ってる」男なんですね。（^^#）



■ 2018.06.10 バクー・ブライサオ ■



激動の一日の翌日。当然、朝寝坊。ホテルのバイキング朝食がありがたい。こんな日は、どこにも出かけず休養に励むのみ。夕方になって、やっと外出する気になり、ホテル近くをぶらぶら。すぐそばに ATM 発見。50 マナトをキャッシング。

歩いた道沿いには、コンビニやスーパーがたくさんある。木々の生い茂った公園は日陰ができて過ごしやすかった。コアラパーク横ではラジコンカーに乗る子どもの姿が。

バクーの本格的観光は明日に回し、ワインとビールでたっぷり晩酌。

■ 2018.06.11 バクー旧市街 ■



ホテル・チェックアウトはぎりぎりの 12 時。まずは、徒歩でバクー中央駅に向かう。今夜の寝台列車の切符をゲット。ティビリシまでの開放寝台料金 25 マナト (1625 円)

出発は 21:50 それまでの時間を観光でつぶさなくては。

駅から歩いて海岸へ。バクーのカスピ海はと一っても汚く興ざめ。反面、海岸公演は綺麗で過ごしやすかった。

バクー旧市街は観光客であふれていた。「乙女の望楼」「シルヴァン・シャフ・ハーン宮殿」などの世界遺産をはじめみどころはたくさん。石畳の街並みを歩きながら、ああヨーロッパにいるんだなあ、アジアと全然違うなあと感じる。

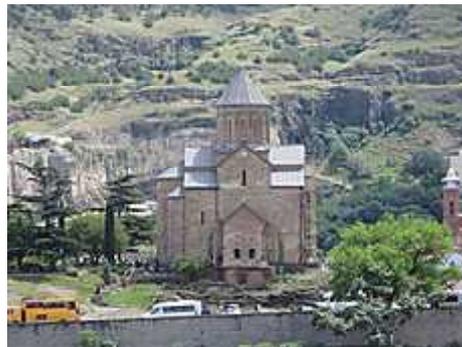
旧市街観光の後はバクーの目抜き通り「ニザミ通り」を歩く。ところどころにベンチがありゆったり過ごせる。ベンチに座り、ワインを飲んでぼーっとする時間がよかった。

18 時過ぎ、駅に戻る。駅には無料 Wi-Fi があり、時間つぶしには困らなかった。ところが駅周辺にコンビニやスーパーがなくて、ビールを手に入れるのに結構歩き回らなければならなかった。

やっと見つけ、駅待合室のフードコートで夕食&晩酌。21:00 寝台列車の扉が開き乗車。
明日は、ジョージア首都ティビリシへ。



■ 2018.06.12 ティビリシ ■



寝台列車では、中国の青年と向かいになった。西安出身の Wei Chen Yang 君。30 年前の中国旅行の写真を見せたりして盛り上がった。彼には、中国とモンゴルで余ったお札をプレゼント。(二つ合わせても千円くらいにしかならないが…)お返しにバクーのお土産をいただきました。

我々の乗った開放寝台車両は外国人が多かった。カナダ人やタイ人など、いろんな国から来た人が集まっていた。

列車での国境越えは久しぶり。アゼルバイジャンの出国審査、ジョージアの入国審査、ともに1時間ぐらいつつ。自分の席に座っていればいいから、楽といえば楽だが、長くてうんざり…。それでも、11時半頃ティビリシ到着。13時間半の旅でした。





ATM でキャッシングし、地下鉄でホテルへ。ゲストハウスは探すのが大変なのだが、今回は割とスムーズに見つけることができた。シャワーを浴び休憩。その後、さっそく観光に出かける。シオニ大聖堂、ゴルガサリ広場、メテヒ教会など。広場のレストランで生ビール。今回の旅行での初体験となった。一杯 6.5 ラリ (293 円)

■ 2018.06.13 ティビリシ 2 日目 ■



朝、ブログを更新していると、荒々しく部屋をノックする音が。なんですかと出てみると、ゲストハウス・オーナーらしき男性が、英語だかロシア語だかわからない言葉で文句を言ってきた。部屋が臭い、窓をあけると命令口調で…。何様？ お酒やら食べ物の匂いがしたのだろうと想像はついたが、それなら部屋で飲食禁止とかホテルポリシーに載せときゃいいだろう。非常に不愉快な気分になり、早々にそこを出た。ゲストハウスからすぐのホテルを取り移動。快適だったものの Wi-Fi 電波が部屋の中に届かず、苦勞。午後、ふたたび市内観光。旧市街にあるツミンダ・サメバ大聖堂へ。外の広場では、少年少女合唱団が讚美歌を歌っていた。ホテルに戻り休憩後、メテヒ教会あたりをもう一度観光、教会内部は撮影禁止で残念。メトロ駅近くの大きなスーパーマーケットで総菜を買う。中東はもちろんコーカサス三国もスーパーで総菜を売っているところが少ない。節約旅には総菜がありがたいんですがねえ。

■ 2018.06.14 エレバン(アルメニア)到着 ■



ホテルを7時に出て、ティビリシ・スクエア駅へ。9時過ぎ発のマルシュートカ（乗り合いミニバス）でエレバンへ。日本人男性と乗り合わせたが会話なし。1時間半ほどで国境到着。ジョージアの出国審査も、アルメニアの入国審査もあっさり終了。アルメニア側では悪路が続き、振動と砂埃に悩まされる。それでも、アルメニアの豊かな自然風景に心癒された。

午後3時過ぎ。エレバン到着。ATMキャッシングし、地下鉄でホテルのある駅へ。

例によって場所が分からず、派出所やスーパーで道を尋ねる。スーパーにいた若者がホテルまで案内してくれた。そこは何と、マップで探した地点の真向かいだった。

とにかくチェックイン。そしてスーパーでお酒と食料ゲット。アルメニアは物価がものすごく安い。パン11円、袋ラーメン14円、ビール大瓶85円、ウイナ12本入り115円など。おったまげー。

■ 2018.06.15 エレバン観光 ■



思いのほか良かったアルメニア、エレバン。人が親切でやさしく気さくに話しかけてくれた。

でも、アルメニアという国はいろんな事情があって、トルコ側の国境もアゼルバイジャン側の国境も閉じられている。そのため、陸路で他国に移動するにはジョージアに戻らねばならない。

ホテルの朝食を済ませ最初に向かったのは駅。まずは今夜発寝台列車の切符を手に入れなければ。

ティビリシ行きの列車は 15:30 発だそうでその列車はバトゥミ終点とのこと。こりゃまたラッキー。トルコ国境まで一気にいける。切符をゲットし、すぐエレバン市内観光へ。見どころが集中しているので短時間で回れた。駅近くの食堂で生ビール。一杯 500 ドラム (113 円)。二杯飲んじゃったあ。

■ 2018.06.16 トルコ縦断 ■



エレバンからの寝台列車は朝 7:00 トゥミ到着。

バスターミナルまで少し離れていたため、徒歩で黒海沿いを歩いて移動。乗り合いバスに乗って国境越え。25 ラリ。9:30 出発。トルコのトラブゾンまで 3 時間ほどかかった。

トラブゾンのターミナルに着いたら、すぐにメルスィン行きバスに乗ることができた。

12 時半発。メルスィンまで 30 ドル。ちと高いかと思ったが、エアコン付き、ビデオ付き、USB 充電付きの豪華バスで快適。

乗ってから、ずーっと黒海沿いを走るバス。景色はいいが、イランでの経験があるため、落ち着かない。「メルスィン行きですよ、このバス！」と。何度も尋ねる小心者のいさちゃんでした。

■ 2018.06.17 シリフケなう ■





バスは朝 6 時にメルスィン到着。7:00 メルスィンのターミナルからバスに乗り、シリフケ 9:15 着
キプロスへのフェリーチケットゲット。出航は 23:59。

三日連続のホテル泊無し。お金は浮くけど、時間潰しが大変だあ。

シリフケのフェリーターミナルは暑かったけど、日陰にいれば涼しく、海風が吹いて快適だった。
船を眺めたり、市場を見学したり。ビールを買って飲んだり。それでも出発までの 13 時間は長いので、昼食はカフェに入って Wi-Fi を利用。

夕方、もう一度同じ店で夕食。ワールドカップ、メキシコ Vs ドイツの試合を堪能。



■ 2018.06.18 キプロス ■





フェリーは9時半過ぎに北キプロス・ギルネ港到着。

入国の際、パスポートにスタンプを押されると、南キプロスに入国できないそうで、いつになく緊張する。別紙に押ししてもらい安心。

乗り合いバスでニコシアへ。4ドル。ニコシアはグリーンラインと呼ばれる境界線で、街の半分が北キプロスと南キプロスに分けられている。

国境越えはクロスポイントと呼ばれる場所のできる。24時間開いていて、今は規制も緩く、時間もかからない。歩いて国境越え、これまた緊張したが、あっけなく通過。

ホテルに荷物を預け、旧市街観光。12時。チェックイン。4日ぶりのシャワー。(#^^#)

■ 2018.06.19 ラルナカ ■



今日はニコシアから国際空港のあるラルナカに移動。宿泊したホテルの真ん前がバスターミナルだったのはラッキーでした。ホテルチェックアウト11:40 インターシティバスは12:30発。ラルナカまで4ユーロ。バスがどこまで行くか分からないので、ホテルから遠くならない場所で下車。

これもグーグルマップのおかげです。ホテルを探すのに手間はかかりませんでした。道に案内板を出していてくれましたから。

オニスホテルのドミトリールームに宿泊。部屋にバスタブがあり歓喜！。早速何十日ぶりに湯船に浸かる。Wi-Fiはロビーでしか出来ないのが難。

15:00 ワールドカップ・コロンビア戦。これまた歓喜！！終了後、市内観光。ラルナカ・フォート、教会、など。スーパーでビールにワイン、缶詰購入。不健康な晩酌。(^-_-)

同室になったのはアメリカ人の青年。あまり眠れず…。ドミトリーはやっぱりきついなあ。朝起きたらもう一人寝てた。



■ 2018.06.20 レバノン入国 ■



5 時前起床。6 時頃からロビーでネット。空港行きバスはホテルの真ん前に停車するというのでそれを待つ。6:45 頃、425 番バス乗車。ラルナカ国際空港へ。1,5 ユーロ。

途中、「ラルナカ塩湖」がありパチリ。10:00 発航空機でレバノンの首都ベイルートへ。11 時少し前到着。空港からミニバスか路線バス 5 番で市内へ向かうつもりだったが、それらしきものは発見出来ず仕舞い。結局タクシー利用 20 ドル。 ナポレオンホテル到着。4 星。今旅で最高額 49 ドル。バスタブあり。2 泊するから 3 日連続湯船浸かりだあ！

夕食はチキンケバブにカップ麺、トウモロコシ缶詰。ビールにウイスキー。

3 日連続ホテル泊無しの疲れが今頃出たみたいで、爆睡。

■ 2018.06.21 軽く沈没 ■





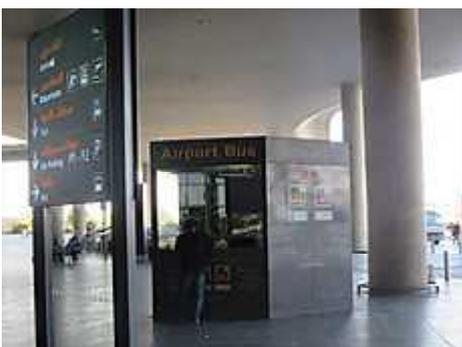
ベイルート2日目。爆睡したが、3時頃には目が覚めた。
ホテルの朝食バイキングでは、野菜果物を多く摂るようにした。旅で大事なのは健康ですからね。
体力温存のため、観光は最小限にするつもり。今日は一日休養だあ！と決め込んで、ずーっとノンビリ。軽く沈没しちゃいました。

■ 2018.06.22 ベイルート旧市街 ■



ベイルートからアンマンへの移動は、空路しか選択肢がない。レバノンからはシリアもイスラエルも陸路は通れない。取った航空チケットの出発は 05:10。3 時間前に空港に着くとすると、ホテルを 01:30 に出なくてはならない。こりゃあ、ホテル代もタクシー代ももったいない。ということで、本日の宿泊はベイルート空港の待合室に決定であります。ホテルを 12 時ぎりぎりにチェックアウトし、ゆーっくり歩いて市内中心部へ。

■ 2018.06.23 ヨルダン・アンマン入国 ■





07:00 ヨルダンの首都アンマン到着。アライバルビザは無料。キャッシングを済ませ、エアポートバスで市内。バスは中心部に行かないので、適当な場所で下車。

ホテルまで近いかと思っただが、結構な距離を歩く。途中、酒屋を見つけ、我慢出来ずビール購入。喉を潤す。ホテルにチェックイン後、シャワーを浴びたら2時間ほど爆睡。

夕方、アンマン市内観光。坂が多くて大変。アンマン・シタデルは必見。高所から見る市内の景観は最高！

■ 2018.06.24 ペトラ遺跡 ■



06:30 発 JET 社のバスでペトラへ。11 ディナール。11:00 少し前到着。ペトラ遺跡観光。チケットが 50 ディナールと知り、おったまげー。

遺跡入り口に入って間もなく、「乗馬はチケットに含まれているから無料、サービスが良かったら少しの寄付を」と言われ、乗る。今まで、ラクダ、ロバ、象の乗車体験はあるが、お馬さんは初めて。

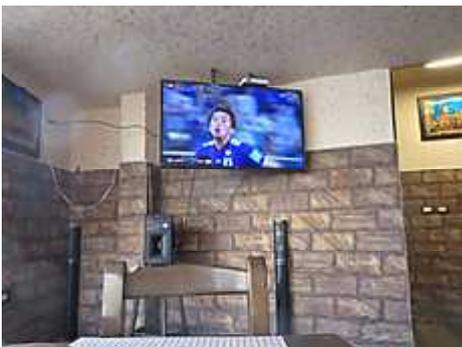
「写真を撮ってあげる、はい笑ってー」と追われたが、振り落とされるんじゃないかと、気が気ではなかった。馬を降りたとき、3ディナールあげたが不服そうだった。(>_<)



岩の間の狭い道を歩きながら、「どっかで見たなこの景色」という思いが…。そうだった、映画で見たんだ、インディ・ジョーンズだ。後で調べたら、シリーズの中の「最後の聖戦」という映画でした。岩の間の道を出たところにある宝物殿が印象深かったです。ペトラ遺跡は広く、15の有名遺跡のうち13までしか歩けませんでした。

暑い中、ディパック（全荷物）を背負ったまま、砂地や石畳を歩き、疲労困憊。帰りは自力で歩けないかとも思い、あと二つ残して帰路に。へろへろになって戻りました。

ホテルの場所が不安だったので、遺跡からタクシー利用。近いのに5ディナール。



今日は、サッカー W 杯セネガル戦。レストランで観戦。よくやったニッポン！！

■ 2018.06.25 アカバ ■



ペトラ遺跡の街、ワディムーサから南端の街アカバへ移動。ミニバスで行こうと思ったが、1時間待つもバスは来ず。安かったのでタクシー利用。10 ディナール。

アカバ到着後、ホテルチェックインで揉める。エアコン付きで 15 ディナールの契約なのにエアコン付きの部屋は 20 ディナールの一点張り。

予約確認書を示しても変わらないので「キャンセルする」と言ったらようやく認めた。

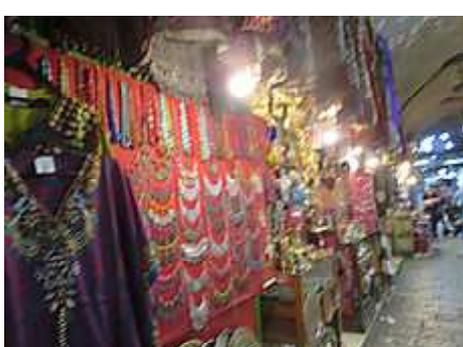
なんじゃそれ。非常に気分を害し部屋へ。これもまた勉強だね。

■ 2018.06.26 イスラエル入国 ■



朝 7 時頃ホテルを出る。タクシーで国境。10 ディナール。7 時半前国境到着。ヨルダンの出国審査はあっけなく終了。次は、厳しいと評判のイスラエル入国審査。数カ所で質問を受けたが、結構簡単にパス。最後のパスポートコントロールで怪しまれ、少し時間を食う。イスラエル出国の航空チケットがないこと、多くの国々を訪れていることなどが問題とされた模様。世界地図を出し、これまでの旅行コースを示したら、ようやくご納得いただけたようでした。

イスラエル側国境でバスを待っていたら、お客を降ろしたバスの人から「どこに行くの?」と聞かれ、「エルサレム」と答えたら、エイラト・バスターミナルまでただで乗せて行ってくれました。エルサレム行きチケットゲット。70 シェケル(2111 円) 現地通貨に両替して、まもなく乗車。ターミナル待合室で無料 Wi-Fi につながったので、こうしてブログ更新。(^-)



バスは、5 時間弱で到着。バスターミナルから徒歩で旧市街にあるユースホステルへ。

ドミトリー 1 泊 45 シェケル (1357 円)。荷物を置いて早速観光。聖墳墓協会。

夕食時、日本人旅行者二人と一緒に意気投合。夜遅くまで旅談義&情報交換。

■ 2018.06.27 エルサレム旧市街&ベツレヘム ■



エルサレム旧市街では、嘆きの壁、岩のドーム。
知り合った日本人二人と一緒に観光。



ベツレヘム（パレスチナ自治区）へは、日本人一人と二人で、イエスが生まれた生誕教会へ。
昼からビールを飲んで、鳥の半身を食べて。
帰ってシャワーを浴び、またビール。
日本語で会話でき、お酒も飲めて大満足！！

■ 2018.06.28 死海浮遊体験 ■



セントラルステーションから 482 番バスに乗りエン・ゲディ。ホテル前のバス停で降りればよかったのだが、間違えて一つ手前で降りちゃった。

まあいいかと、死海のビーチに向かったが、そこは道も悪く、歩くのが大変だった。

崖を降り、独りで服を脱ぎ海に入る。しっかり浮くことを確認してから、岸に置いたカメラを取りに行き、自撮り。浮かんだまま本が読めるくらいだから、自撮りは簡単だった。

カメラを戻してから、しばし浮遊。

バス停に向かうと 482 番バスが…。走ったが間に合わず。1 時間後来たバスに乗ってエルサレムに戻る。

W 杯サッカー、ポーランド戦を見ようとレストランに入る。

中継が始まったら何故か黄色対緑。コロンビア・セネガル戦が同時開催で日本戦は観戦できず。

たくさんのレストランや電気屋を回ったがだめ。諦めてホテル。予選突破できてよかったあ。

■ 2018.06.29 ティベリア ■



エルサレム旧市街からトラムでセントラルステーション。962 番バスでティベリア。

37.5 シュケル。3 時間ほどで到着。ホテルへ。4 日ぶりの一人部屋。

ビールにワイン、ハムで飲んだくれ。

ホステルの居間にギターがあったので、ジャパニーズソングを披露。思いのほか受けた。同宿のドイツ人女性から「ストリートで歌えば、一年じゃなくて、二年は旅を続けられるわよ」とお褒めいただきました。芸は身を助く、ですか？



油断しておりました。金曜の午後から土曜の日の入りにかけては、安息日とされ、お店が閉まるだけでなく、公共交通機関もすべてストップであります。おかげで、ティベリアからナザレにかけて、キリストゆかりの遺跡を巡る計画はおじゃんになりました。実現したのはガリラヤ湖観光のみ。

それでも、今日の夕方からバスは動くらしく、ホテルのご好意で、滞在させていただいています。今日中にテルアビブに着けば、明日の飛行機搭乗も安心なのですが…。



テルアビブ行きバスは 15:30 発。3 時間弱でテルアビブ、セントラルステーション到着。空港に向かうため、駅までの道のり約 2.5 キロを歩く。駅に着いてから初めて、違う駅を目指していたことに気づく。まあいいか 30 分くらいだし…。ようやく目的の HaHagana 駅到着。やれやれ…。

ところが、駅は閉鎖中。20 時 30 頃、駅員がイスラエル語で皆に何か言っている。

「エアポート OK ?」と聞くと「クローズ」の答え。明日も動かないというご返答。

ガビーン。バスかタクシーで行けという。どのバスか教えてくれと聞いても、「知らない。誰かに聞け」という冷たい対応…。調べたら 5 番バスが空港近くまで行けらしい。500m 離れたセントラルバスステーションに行って、5 番バスの発着所を何とか探しあて、いざ乗り込もうとすると、「空港近くにはいかない」と運転手。(後でわかったが 5A のバスらしい…)。

道行く人に尋ね、バスを 3 つ乗り換えるルートを検索してもらったが、最初に乗った 104 番バスは空港とは違う方向に進むばかり、運転手に英語は全く通じず、どうしようかと思っていたら、乗り合わせた女性が一緒に降りて、タクシーに交渉してくれ、相場よりは安く行けるようになった。

140 シュケル (4200 円)。でも、電車の十倍。ほんとタクシーは高い。でも、仕方ないか。

空港到着は 23 時を回っておりまして。出発ロビーの片隅のベンチ横にシュラフとマットを敷いて仮眠。4 時になれば、チェックイン手続きができますから。

■ 2018.07.01 マルタ ■



テルアビブの国際空港 7:10 発のフライトでマルタ。入国手続きはとても簡単でスピーディ。中東との違いを実感しました。アジア、中東の旅を終え、いよいよヨーロッパ編に突入であります。



宿泊したドミトリーは 1 泊 3800 円。首都バレッタ、それも旧市街の中心地なので仕方ないが、かなりの高額。エルサレムの宿と違い、若い女性がほとんど。無駄にドキドキしましたが、場違い感はんばない。キッチンがあるので、豚肉ステーキに目玉焼きを作り、ビールとワインで夕食。

スーパーさえ見つければ、酒と食料は安く手に入る模様。(＃＃＃)

■ 2018.07.02 やはり一人部屋がいい ■





バレッタのドミトリーを出て、ホテルのシングルルームに移動することに。バレッタからスリマはフェリーで移動できる。1.5ユーロ。乗ってから着くまで15分もかからないが、気分は良かった。船が好きなんだなあと再実感。

PARK HOTEL は無料 Wi-Fi、エアコン、バスタブ、冷蔵庫付き。天国、天国。この4つが自分にとっての必要設備だ。バスタブにつかり、衣類すべてを洗濯。外に干すとすぐ乾く。

■ 2018.07.03 ルーマニアへ ■



05:15 ホテルを出てバス停 05:25: 空港行き X2 番バスを待つ。中々来ないので焦る。待つリミットは 06:15 と決める。6 時を過ぎ、タクシーを拾おうか迷っていると、スーツケースを持った女性が二人。きっと空港に行くんだと思い、聞いてみたら、06:14 発だった。

X2 番バスは、いろんなところをぐるぐる回り、空港まで1時間近くかかって、またまた焦る。07:15 空港到着。フライトは 08:30。ぎりぎりだ。でも、マルタの出国手続きがスピーディだったので事なきを得る。一人旅は気疲れが多いです。



ルーマニア首都ブカレスト空港着。783 番バスで市内へ。9 レイ (250 円)。

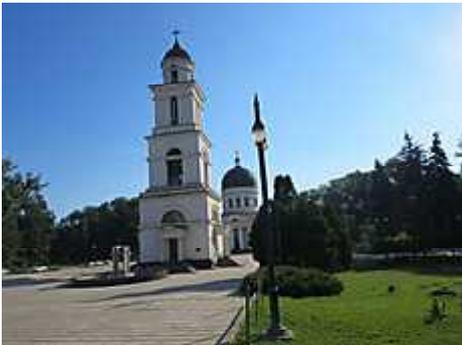
中央バスターミナルへ。14:00 到着。今晚 21:30 発、モルドバ首都キシナウ行きバスに乗ることを決める。

出発時間まで、ターミナル隣の公園で過ごす。コンビニでビールとつまみを買って、ゆっくり、ちびちび飲み食べた。

ルーマニアの物価は安い。500ml 缶ビール 1 本 60 円くらい。

バスは、エアコン、無料 Wi-Fi 付き。快適！

■ 2018.07.04 キシナウ (モルドバ) ■



バスは、6 時少し前にモルドバ首都キシナウに到着。バスターミナル近くのホテルを予約しておいたが、さすがに 6 時前にチェックインはできないだろうから、荷物をもったまま市内観光。

「勝利の門」「キシナウ大聖堂」「中央市場」などなど。モルドバはヨーロッパ最貧国ということだが、どっこい、街は活気にあふれていた。

10 時ころ、ダメもとでホテル近くに行ってみる。運よくアーリー・チェックインできた。

もう観光はいいや、今日明日は、ホテルでゆっくり過ごすことに決める。

キシナウはブカレストよりさらに物価が安い。ビール 1 本 55 円。ワイン 1 本 230 円など。

鶏もも肉の燻製 130 円。ピザ 100 円。あまりに安くて気の毒になるくらい。(^^#)



<ご連絡> モルドバでも、ココログのコメント投稿できません。日本のサーバーが拒否しているのか、モルドバのサーバーの制限なのかわかりません。

「ガッツいし」様、申し訳ありません。ご了承ください。

■ 2018.07.05 のんびりがいい ■



そろそろ旅の疲れがたまって来ましたかね？ 観光する意欲はだいぶ少なくなって来ました。外出は散歩程度におさえ、のんびりしています。今日一番の仕事は、明日のキエフ行き夜行バスのチケットを買いにいったことです。

モルドバのように物価が安い国には長くいたい気がしますが、飛行機のチケットが安い日を選んで移動しているので、なかなかそうもいかないのが残念。

■ 2018.07.06 時間つぶしは公園に限る ■



キエフ行きバスは 21:30 発。ホテルチェックアウトから 9 時間半もあります。「時間つぶしは公園に限る」ということで、公園のベンチをはしごして過ごすことに。日陰にいると涼しいので何時間でもいられそうです。昼寝をしたり、ビールを飲んだり。それでも長いので、バスステーションに行って生ビール。

こういう時間を過ごせて幸せなのかなあ。(^^#)

■ 2018.07.07 キエフからミンスク (ベラルーシ) ■



キシナウ(モルドバ)からキエフ(ウクライナ)へ夜行バスで移動しました。

21:30 発、到着は 7 日の 08:00 頃。バスの隣の席のおじさんが小太りで、人の領域まで足や体を寄せてくるのに辟易。通路側に座ってるんだから、通路に足を出せばいいだろうに。

モルドバの出国手続きや、ウクライナの入国手続きが結構手間取ったこともあり、おかげでよく眠れず。夜行バスでの移動は、だんだんきつくなって来ました。

朝 8 時頃キエフ到着。キエフ駅まで、ゆっくり歩く。キエフは以前 2 泊か 3 泊して観光した思い出の街。駅裏からホテルに向かう途中の商店街を訪ねてみました。

でも、立ち退きを要求されているのか、ほとんどがシャッターを下ろした状態で、開いている店は 2、3 軒。外のテーブルでビールを飲んだ店も閉じていて残念。

空港行き 322 番バス乗り場をやっと探し当て向かったまではよかったが…。

バスが空港に着くころに気づきました。空港を間違えたことに…。

キエフの国際線は、通常ボリスポリ空港発着なのですが、私の乗るベラルーシへの便は、もう一つある空港発着なのでした。空港往復バス代を無駄にしてみました。(840 円くらい)。

キエフ駅まで戻って、乗り合いバスでお目当ての空港へ。

待合室で生ビールを飲んで気持ちを落ち着かせます。



ベラルーシ首都ミンスク到着。中央ターミナル行きのバスで市内へ。

地下鉄でホテル、ユビレイニ。隣のスーパーでビールをゲットし一息。やれやれ。

■ 2018.07.08 気に入ったぜ！ ミンスク ■



聖霊大聖堂、トラエツカヤ旧市街、聖母マリア教会など、ミンスク観光の名所は、宿泊したホテルから地下鉄駅までの大通りに集中していた。まっすぐ歩くだけで迷う不安もなく快適。

ミンスクは街並みが広く、自然も豊か、おおらかな感じのするところがとても気に入った。

ロックバンドの野外コンサートに遭遇したのも運がよかった。

楽しく散歩し、部屋に戻ってビールにワインにウイスキー。物価が安くて、雰囲気良くて。ミンスク！ 最高、気に入った！

■ 2018.07.09 ダブリン（アイルランド） ■

これからベラルーシからプラハ（チェコ）経由でアイルランドへ移動。

アイルランドはユーロが使えるから楽だ。





空港から市内へはダブリンバス（市バス）を利用。3,3 ユーロ。

降りる場所が分からず不安だったが、このバス結構小刻みに停車する。バス停とバス停の間の距離が短いのが特徴か？

スマホのマップが役に立ち、ホテル近くで降車。あまり歩かずにホテルに着くことができた。

ホテル向かいのスパで、ビールとハム、カップ麺ゲット。

アイルランドはギネスビール発祥の地なんですね。知りませんでした。もちろん、美味しくいただきました。

■ 2018.07.10 ダブリン観光そしてアイスランドへ ■



朝 6 時半に起きブログを更新しようとしていたら、7 時ころ突如停電になった。

そのままチェックアウトの 10:00 頃まで復旧せず。ネットどころか、時間とともに、お風呂もトイレも使えなくなっていった。

9:30 過ぎ、部屋の真下で工事の騒音が鳴り出して、たまらず部屋を出た。

昨日空港からのバスで通った道沿いをぶらぶら歩いて観光。ダブリンは自然豊かな街。

水鳥や野鳥も多く見かけた。街並みは統一されているらしく、オレンジ色の煉瓦の建物が多くみられた。英国との違いはよくわかりませんでした。(#^^#)

只今、ダブリン空港の無料 Wi-Fi でブログ更新中。

レイキャビク（アイスランド）行き飛行機は、17:10 発。（日本時間では明日の 01:10。時差 8 時間です。）

■ 2018.07.11 レイキャビク ■



アイスランドは北大西洋に浮かぶ島で、グリーンランドの東、北極圏のすぐ南にあります。すごく大きな島だというイメージがありますが、これはメルカトル図法によるもので、実際の大きさは韓国とほぼ同じ面積だそうです。現在の気温は 10℃を下回っており、急に冬が来た感覚になってしまいました。ゴアテックスのアウトターを持ってきていてよかったです。5月上旬モンゴルで使って以来ずっとディバックに眠ったままでしたから。

物価はやたらに高いです。バストイレ共用のシングルが1泊1万円。レストランは安いメニューでも1800円以上。節約旅行を続けてきた身としては、とてもじゃないが長くはられない、気持ちになります。

ネット情報では、「テンイレブンというスーパーは要注意」とありました。到着日に入って、あまりの高さに驚嘆。翌日別のスーパーと比較したところ、2～4倍の値段設定でした。よく潰れないもんだと、逆に感心するくらいです。

自然は豊かです。空港から市内に向かう景色を眺めながら、「ああ、冬の日本海に似ているなあ」と思いました。火山や温泉が多く、自然を活用したアクティビティが観光の目玉のようです。ニュージーランドや日本と似たところが多いかも。

■ 2018.07.12 レイキャビクから帰国の途に ■



レイキャビク2泊目の宿は、結構よかった。バスタブがありましたからね。例によって蓋はありませんでしたが…。アルミホイルが無かったので、布入りガムテープで代用しました。

残念なのはチェックアウトが10:00と早いこと。21:45発の帰国便まで時間が空きすぎです。

レイキャビクの街自体は小さく、徒歩で十分観光できるのいいのですが、時間を持て余してしまいます。寒いので公園で過ごすわけにもいかず…。結局3時間ほどで空港行きバスに乗っていました。

空港待ち時間に Wi-Fi でもできればよかったですのですが、何故かつながらず。居眠りをして過ごしました。長い待ち時間のあとようやく搭乗手続き。

まずは、バルセロナ（スペイン）まで、4時間20分のフライト。



■ 2018.07.13 ローマから台北 ■

バルセロナ到着 04:05 予定が少し遅れ 04:30 頃。約3時間の待ち時間だがパスポートコントロールで時間を食い、余裕なく次の便へ。07:20 発の便でローマ（イタリア）へ。

1時間45分で到着（09:05）。2時間後の11:05 今度は台北に向け出発。2日連続の機内泊となる。

■ 2018.07.14 帰国 ■



台北までのフライトは12時間40分。中華航空はサービス良く結構快適でした。映画も3本見たし。05:45 到着。台北空港は、「おもてなし」の心あふれる素晴らしい空港です。リクライニングチェアや無料シャワーの設備があるんですよ。もちろん無料 Wi-Fi も。

おかげで約9時間の待ち時間も快適に過ごすことができました。



フードコートで生ビールと豚角煮定食をいただき、心身ともにリフレッシュ！

14:40 日本へ向けフライト。18:55 成田着。

京成ユーカリが丘駅前ホテルに宿泊。

久々の日本酒、お刺身を堪能。

■ 2018.07.15 帰郷 ■

上野発 10:29 上越新幹線で新潟。いなほ5号で象潟下車。実家に戻る。無事戻れたことに感謝！

■ 2018.07.20 旅の費用まとめ ■

5月7日～7月14日まで70日間の費用は、およそ次の通り。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| A 航空チケット 36万5000円 | B 交通費 8万0000円 |
| C ホテル代金 23万5000円（52泊） | D VISA1万6000円 |
| E 飲食費 3万2000円 | |

総額 72万8000円